

フクシマガリレイ株式会社

証券コード：6420

# FINE!

Fresh Information & Next Efforts

## GALILEI

Be cool, Be alive.

2019年12月3日をもちまして、「福島工業株式会社」は  
「フクシマガリレイ株式会社」に社名変更いたしました。

株主・投資家の皆さまへ

第69期中間報告書

2019年4月1日～2019年9月30日



ガリレオは、  
世界を変えた。  
ガリレイは、  
暮らしを変える。

産地と食卓を結ぶ“食のライフライン”に、  
イノベーションを。

**GALILEI**

Be cool, Be alive.

【GALILEI】は「COOLな銀河(GALAXY)のリレー」を意味し、「LEI」の深みのあるブルーは、技術の深さや技術力を表現し、未来へと向かうCOOLな技術を象徴しています。天動説が常識とされていた時代に地動説を主張したガリレオ・ガリレイのように、固定概念にとらわれず発想し、グループが結束し信念をもって最後までやり抜く。そして、世界中へ食の幸せを届け人々の人生を豊かにするという当企業グループの姿勢を込めました。



GALILEI  
スペシャルサイト

## フクシマグループは、ガリレイグループへ。

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。  
 当第69期(2020年3月期)中間の事業活動の概況をご報告申し上げます。  
 また、創業からの68年間、業務用冷凍冷蔵庫・ショーケースを柱に仕事を続けられてきたことに株主の皆様を始め沢山の方々に改めて御礼申し上げます。これまで「福島グループ」のブランドで歴史を積みかさねて参りましたが、事業領域の幅も広がってきた今、グループブランドを統一し「ガリレイ」といたしました。  
 株主の皆様には今後とも引き続きのご支援、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



代表取締役社長 福島 裕

### ―上期の業績について―

上期における我が国経済は、雇用や所得環境の改善等により緩やかな回復基調で推移いたしました。米国をはじめとする各国の通商政策による貿易摩擦や、中国経済の減速等により、景気の先行きが不透明な状態が続きました。

当企業集団を取り巻く環境は、外食産業では、価格改定や期間限定商品の投入により客単価が上昇し、ファーストフードやレストラン業態での売上は引き続き堅調でしたが、人件費の上昇や食材費の高騰などにより厳しい状況が続いております。また、流通産業では、惣菜や生鮮の堅調な推移と加工食品の値上げ寄与はあったものの、依然として根強い消費者の節約志向の中、深刻な人手不足や原材料価格上昇等による影響で引き続き厳しい経営環境で推移しております。

そのような環境の中、冷凍冷蔵庫販売では、ラインナップを拡充した製氷機やプラストチャー、解凍庫の販売が堅調であり、インバウンド需要や消費税の駆け込み需要を背景に飲食店向けの売上が増加ならびに低温インキュベーターや薬用保冷庫の販売が伸長いたしました。また、冷凍冷蔵ショーケース販売においても、食品スーパーの新規出店や改装への投資が引き続き堅調に推移した事や、海外におけるショーケースの販売が増加いたしました。さらに、コンビニエンスストアなどの保守契約による売上や消費税前の駆け込み需要などにより、サービス販売の売上が増加いたしました。

しかしながら、大型食品加工機械販売の売上高が前年同期に比べ落ち込んだことなど、マイナスの要因もありました。

以上の事から、当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同四半期比0.8%の増収、営業利益は3.0%の減益、経常利益は5.5%の減益、親会社に帰属する四半期純利益は0.6%の減益となりました。

### ―下期へ向けて―

国内では、半年後に東京オリンピック・パラリンピックの開催が迫っており、ますますインフラ設備への需要が本格化すると考えられ、また、高齢化・人手不足のため、AI・IoT化が進んでくるものと思われま。

そのような中、当社は創業の地である大阪に新しく新社を建設いたしました。この新社は、従来の「モノ」を作る工場ではなく、知恵やノウハウを作り、デジタルイノベーションを深めることができる「コトづくり」をする「第3の工場」として建設いたしました。

また、第3の工場には、当社の技術者、お客様、ベンチャー企業、大学・研究機関、仕入れ先など、様々な方が集まり「目に見えないものの開発」ができる社屋とし、我々の未来をつくっていく「MILAB」を設けました。

今後は、グループブランドを統一することで、誰が見ても分かりやすい企業グループとなり、「食」の川上から川中、川下までを一貫してお届けできるグループであることを広く伝え、社会に貢献して参ります。

株主の皆様には今後ともなお一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

## 企業理念 環境・安全・安心をテーマに「幸せ創造企業」を目指します。

### 第1項 生活者の幸せ

わたしたちは、環境・安全・安心をテーマに、お客様と協働し、生活者の「幸せ」に寄与することを基本使命とします。

### 第2項 お客様の幸せ

わたしたちは、独自の技術とシステムにより、フードビジネスに新しい価値を創造し、お客様の「幸せ」に貢献することを基本使命とします。

## 財務ハイライト

第69期中間連結決算(単位:百万円)

### 売上高

42,982

前年同四半期比 0.8%増



### 営業利益

4,526

前年同四半期比 3.0%減



### 経常利益

4,703

前年同四半期比 5.5%減



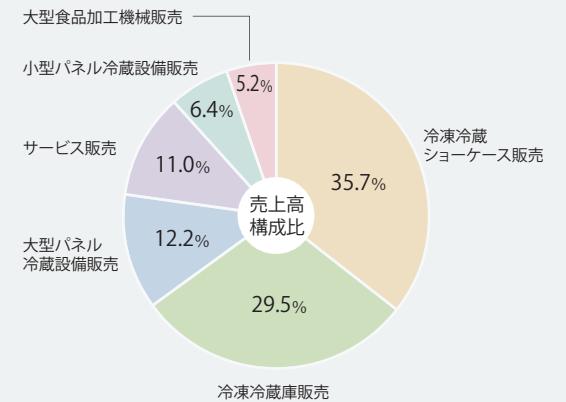
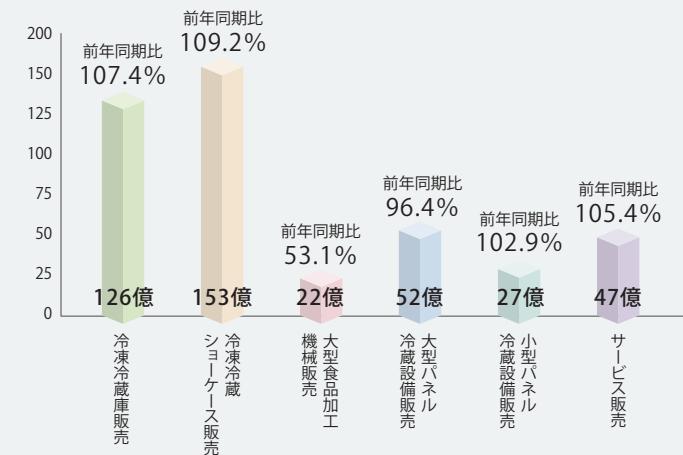
### 親会社株主に帰属する四半期純利益

3,355

前年同四半期比 0.6%減



## 事業別売上高



### 第3項 社員の幸せ

わたしたちは、自己責任能力を高め、自身と社業の成長を通じて、物心両面の「幸せ」を追求することを基本使命とします。

### 第4項 株主・お取引先の幸せ

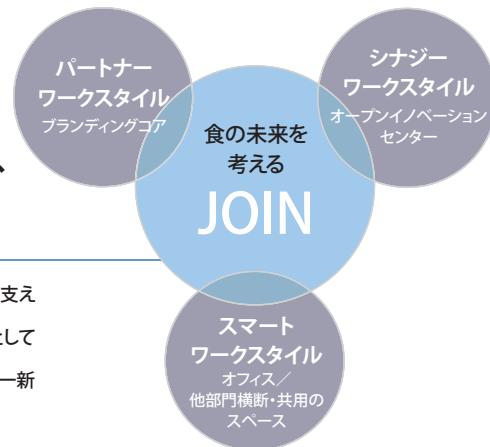
わたしたちは、将来への目標を共有し、常に業績向上に努め株主やお取引先に「幸せ」を提供することを基本使命とします。

# 新ブランドとともに、本社を新社屋へ移転。 グループ一丸となり、さらなる価値の創造へ。



「JOIN」をテーマに、  
社員、グループ、業種の壁を越え、  
人と人、人と技術、技術と技術をつなぎ、  
新たな事業を生み出していく。

私たちは、創業以来、冷やす技術を進化させることで食のインフラを支え続けてきました。そして今、フードビジネスのリーディングカンパニーとして更なる高みを目指し、事業ブランドを「ガリレイ」に統一。社名と社屋を一新しました。ここから、ガリレイグループの新たな挑戦が始まります。



## “食の未来を拓く” オープンイノベーション拠点 MILAB始動。

# MILAB

新たな一歩を踏み出すにあたり、新本社の1F・2F・8Fにオープンイノベーション施設を設け、MILAB (ミラボ) と名付けました。MILABは、お客様や研究者、インキュベーターといった皆様に、川上から川下までを一貫して手掛ける当グループの全てを見学・体験・実験していただける施設となっています。これからは、いかにエンドユーザーのニーズを素早く察知し、求められるものを的確に商品やサービスに転換できるかということが必要になります。それにはエンドユーザーの一番近くにいるお客様と共に、開発を進めることが不可欠です。そのためプラットフォームとして作ったのがこのMILAB。お客様を始め、様々な方とともに次世代の食の未来を拓いてまいります。



MILABセミナールーム

ガリレイギャラリー  
吹き抜けで開放感のあるエントランスホールは一目でガリレイグループをご覧いただけます。

## Feature.1 新たな「食」のカタチをリサーチ

最新厨房機器やシステム、食品研究室など  
実体験を通してながら、  
食の新たな可能性を追求していく。

MILABには、1Fに厨房機器メーカーの最新機器やシステムを取り揃えた「MILABキッチン」、ベーカリー・パティスリーの専門ニーズに応える「MILABベーカリー」、食品メーカー様や調理学校等の方々にもご利用いただける「MILABセミナールーム」、お客様が求める理想的なおいしさを科学的に分析し評価するラボ「MILAB食品研究室」、最先端技術を取り入れた未来型の店舗の実験と創造を行う「MILABストア」、食品工場などで連続的に急速冷凍を行うタカハシガリレイのトンネルフリーザー<sup>®</sup>を4台設置し、実験を行える「MILAB食品工場研究室」とガリレイグループの料を集めました。



MILABベーカリー



MILABキッチン



MILAB食品研究室



MILAB食品工場研究室

## Feature.2 次世代の「食」ビジネスをサポート

産学連携やグループ内協業など、  
食に関わるベンチャー事業の設立を支援していく。

2Fにある「MILABオフィス」「MILABサロン」は、食に関わる事業を新たに展開する企業や、これから食に関わる事業をスタートさせようとしているスタートアップ企業の皆様にサテライトオフィスとして使用でき、さらに、商品開発に必要な不可欠となる1F施設も利用していただく事が可能となっています。設備面のサポートだけでなく、食事業に精通するスタッフのアドバイスやサポートも実施し、ガリレイグループは新しい「食の未来」を創造していきます。



MILABサロン



MILABオフィス



MILAB食堂

## case study 1

### 国内最大級の熊本バスターミナル 「SAKURA MACHI KUMAMOTO」の飲食店 6店舗様の店舗づくりをサポート。

福岡・博多を中心に幅広いフードビジネスを行う「株式会社タケノ」様、  
鉄板ホルモン焼き店舗を展開する「株式会社56フーズ・コーポレーション」様及び「株式会社POP」様の  
それぞれの店舗に厨房設備やケース類の導入・施工を行いました。



9月14日にグランドオープンを迎えた「SAKURA MACHI KUMAMOTO」は、地上15階、  
地下1階の国内最大級となるバスターミナルです。この度、地下1階の飲食店街に  
店舗を構える「株式会社タケノ」様が経営されている「とりかわ竹乃屋」「肉バル  
GOTCHA」「竹乃屋別館」「竹乃屋のやきとり」の4店舗、56フーズ・コーポレーション  
様が経営されている「天神ホルモン」、株式会社POP様が展開されている「牛しゃぶ  
牛すき但馬屋」の各店舗のお店作りをお手伝いさせていただきました。



#### SAKURA MACHI KUMAMOTO

所在地:熊本県熊本市中央区桜町3番10号  
グランドオープン:2019年9月

熊本市中央区の桜町地区再開発の一環として  
商業施設、バスターミナル、公益施設、ホテル、シネマコンプレックスなど、  
多様な用途が一体となった複合施設です。

## case study 2

### 生産者直売コーナーを中心に展開する、 「A・コープ ファーマーズ サン・ライフ店」様の リニューアルオープンをサポート。

地元の食文化を支える地域密着型の店づくりを目指す「株式会社長野県A・コープ」様の  
「A・コープファーマーズサン・ライフ店」のリニューアルをお手伝いいたしました。  
地元生産者様の農産物や畜産物を中心に、豊富な品揃えを取り扱うため、  
冷凍冷蔵ショーケースをはじめバックヤードのプレハブ冷蔵庫などの冷凍冷蔵設備一式を導入していただきました。



A・コープファーマーズサン・ライフ店  
所在地:長野県茅野市玉川神ノ原3035-1  
リニューアルオープン:2019年9月

長野県内に27店舗を構える「長野県A・コープ」様は、自然と環境にやさしいお店  
づくりに取り組んでおられます。今回施工をお手伝いさせていただいた「ファー  
マーズサン・ライフ店」様は元々「サン・ライフ店」として営業されておりましたが、  
2019年9月20日に「ファーマーズサン・ライフ店」として生まれ変わりました。  
ファーマーズ店となり地元で生産された農産物や畜産物などの直売コーナーも  
以前より4～5倍の広さとなり、今までよりさらに地元密着型の店舗となりました。



## ■ 大量調理に関する専門展示会 フードシステムソリューション2019・ 食品工場の設備改善・業務効率化を提案する専門展示会 フードファクトリー2019に出展

2019年9月11日(水)～13日(金) 東京ビッグサイト(同時開催)

フードシステムソリューションではフクシマはHACCP制度化に向けての温度・衛生管理のソフト提案を中心に、各工程で役立つ様々な厨房機器を展示しました。また、弊社機器を活用した「冷却調理」の試食や「とろみサーバー」の試飲も行いました。同時開催のフードファクトリーには、ガリレイパネルクリエイイトとフクシマが合同で出展いたしました。



フードシステムソリューション2019

フードファクトリー2019



## ■ 「食の技術」の総合展示会 FOOMA JAPAN 2019 国際食品工業展に出展

2019年7月9日(火)～12日(金) 東京ビッグサイト

アジア最大級「食の技術」の総合トレードショー。「ミライの食品工場」をコンセプトにタカハシガリレイの連続式フリーザー、ショウケンガリレイの自動搬送ラインを独自のシステムと組み合わせた省人化ライン等、グループならではの幅広いご提案を行いました。



## ■ キューブアイス大型製氷機モデルチェンジ！

新型構造の水タンクにより、節水性と省エネ性が向上しました。氷1kgあたりの製氷コストは、約5%ダウン。さらに、フロートスイッチの採用により、より安定して製氷できるように改善。また、冷却器にアルミニウムを用い、耐食性もアップ。18種類のバリエーションで、要望に合わせてより最適に活用できます。



FIC-A240KS2ST

## ■ 日本食糧新聞社主催『食品産業 平成貢献大賞』受賞

『食品産業が平成の30年間に優秀卓抜な食品開発、改善・普及、安全・安心、生活改善向上、技術革新などにおいて、業界発展に著しい功績発展を果たされた企業を顕彰、その功績を広く語り伝えて称賛するもの』として、食品関連・機械、資材、素材部門にて受賞いただきました。冷凍冷蔵設備メーカーとしての受賞は唯一当社だけです。



# 連結財務諸表

## 連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日現在)	当第2四半期 連結会計期間 (2019年9月30日現在)
<b>資産の部</b>		
流動資産	60,422	58,409
固定資産	26,200	28,176
有形固定資産	14,899	16,952
無形固定資産	421	416
投資その他の資産	10,879	10,807
<b>資産合計</b>	<b>86,622</b>	<b>86,586</b>
<b>負債の部</b>		
流動負債	31,088	29,186
固定負債	1,646	1,362
<b>負債合計</b>	<b>32,735</b>	<b>30,548</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本	49,771	52,165
資本金	2,760	2,760
資本剰余金	3,168	3,168
利益剰余金	47,057	49,451
自己株式	△3,214	△3,214
その他の包括利益累計額	4,059	3,820
その他有価証券評価差額金	4,058	3,782
為替換算調整勘定	65	70
退職給付に係る調整累計額	△64	△32
非支配株主持分	56	51
<b>純資産合計</b>	<b>53,887</b>	<b>56,037</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>86,622</b>	<b>86,586</b>

Point.1

### Point.1

受取手形及び売掛金が減少したことによる流動資産の20億1千2百万円減少と、建設仮勘定が増加したことによる固定資産の19億7千5百万円増加により、資産合計3千6百万円の減少となりました。

### Point.2

ラインナップが充実した製氷機やプラストチャー、解凍庫が好調に売り上げを伸ばしたことや、食品スーパーの新規出店、改装への投資が堅調に推移したことなどにより、昨年同時期に比べ3億2千3百万円の増加となりました。

## 連結損益計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期 連結累計期間 (2018年4月1日から 2018年9月30日まで)	当第2四半期 連結累計期間 (2019年4月1日から 2019年9月30日まで)
売上高	42,659	42,982
売上原価	31,378	31,730
売上総利益	11,281	11,252
販売費及び一般管理費	6,616	6,726
営業利益	4,664	4,526
営業外収益	347	343
営業外費用	32	166
経常利益	4,980	4,703
税金等調整前四半期純利益	4,980	4,703
法人税、住民税及び事業税	1,689	1,331
法人税等調整額	△74	29
法人税等合計	1,614	1,361
非支配株主に帰属する四半期純損失	△11	△13
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,377	3,355

Point.2

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期 連結累計期間 (2018年4月1日から 2018年9月30日まで)	当第2四半期 連結累計期間 (2019年4月1日から 2019年9月30日まで)
営業活動による キャッシュ・フロー	3,028	2,048
投資活動による キャッシュ・フロー	△1,625	△3,917
財務活動による キャッシュ・フロー	△1,193	△961
現金及び 現金同等物に係る換算差額	54	△79
現金及び 現金同等物の増減額	263	△2,910
現金及び 現金同等物の期首残高	31,481	33,669
現金及び 現金同等物の四半期末残高	31,745	30,759

Point.3

記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

### Point.3

税金等調整前四半期純利益を47億3百万円計上し、主に投資活動に資金を使用した結果、前連結会計年度末に比べ29億1千万円減少し、307億5千9百万円となりました。

# Information

## 会社概要

商号	フクシマガリレイ株式会社
本社	〒555-0011 大阪府大阪市西淀川区竹島2丁目6-18
設立	昭和26年12月8日
資本金	27億6千万円
従業員数	連結：2,033名 単体：1,500名（準社員除く） 2019年3月現在

## ネットワーク

支社	東日本（東京浅草橋）、中部（名古屋）、西日本（福岡）
支店	北海道（札幌）、東北（仙台）、北関東（宇都宮）、さいたま、千葉、東京（日本橋）、横浜、信越（長野）、静岡、北陸（富山）、関西（大阪）、京都、南大阪、神戸、岡山、広島、四国（高松）、東九州（大分）、西南九州（熊本）、沖縄
営業所	旭川、函館、帯広、青森、盛岡、秋田、郡山、山形、高崎、水戸、つくば、船橋、西東京、甲府、新潟、松本、沼津、浜松、豊橋、三重、岐阜、金沢、福井、滋賀、福知山、奈良、和歌山、西宮、姫路、鳥取、松江、福山、山口、徳島、松山、高知、北九州、久留米、佐賀、宮崎、延岡、都城、中津、長崎、佐世保、鹿児島、石垣、宮古島
サービスセンター	関東（西船橋）、関西（大阪）
サービスステーション	釧路、水沢、北東京、南東京、厚木
工場	滋賀（水口）、岡山
グループ会社	国内：タカハシガリレイ株式会社、ガリレイパネルクリエイト株式会社、ショウケンガリレイ株式会社、フクシマトレーディング株式会社 海外：香港、台湾、シンガポール、上海、マレーシア、北京、タイ、ベトナム、インドネシア、フィリピン、カンボジア、ミャンマー 海外工場：北京合弁工場、タイ工場

## 役員

代表取締役社長	福島 裕	取締役	藤川 隆夫
取締役副社長	福島 亮	取締役	吉年 慶一
専務取締役	福島 豪	取締役	田中 浩子
常務取締役	片山 充	監査役	竹内 博史
常務取締役	長尾 健二	監査役	濱 政夫
取締役	水谷 浩三	監査役	西井 弘明
取締役	日野 達雄		

## 株式のご案内

決算日	3月31日
定時株主総会	毎年6月下旬に開催
配当金受領 株主確定日	3月31日 なお、中間配当を実施する場合の確定日は9月30日
上場取引所	東京証券取引所 市場第一部
公告掲載方法	当社の公告はホームページ <a href="https://www.galilei.co.jp/ir/advertise.html">https://www.galilei.co.jp/ir/advertise.html</a> に掲載いたします。
株主名簿管理人および 特別口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理 事務取扱場所 (郵便物送付先)	大阪府中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	0120-782-031



最新情報、サポート情報、デジタルカタログ等、様々なコンテンツが充実。  
フクシマガリレイのホームページを、ぜひご覧ください！

<https://www.galilei.co.jp/>

**GALILEI**  
Be cool, Be alive.

この報告書は環境に配慮し、  
植物油インキを使用しています。

